



GRAB BAR KIT 取扱説明書

EC84100-KWN-A11
JDKWN-84100-A01

適用機種：PCX / PCX150

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

- 販売店様へ この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
- お客様へ この取扱・取付説明書は、必ず保管してください。

安全上の注意事項

必ず取扱説明書に書かれていることを厳守して作業を行なって下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1. 製品包装のビニール袋は、子供や幼児がかぶったり吸い込んだりしないよう、
手の届かないところに片付けるか、廃棄処分すること。(窒息の危険があります。)
2. 各取付ボルト及びナットは、規定トルクを厳守し、締め付けること。
(ボルト及びナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等によって怪我や、死亡事故につながる恐れがあります。)
3. エンジンを始動する場合、換気の良い場所で行うこと。
(排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
4. エンジン回転中や停止後しばらくの間は、マフラーは高温になっています。
・絶対に近くにガソリンなどの危険物や、燃えやすい布などを置かないこと。(火災の原因になります。)
・絶対に人や動物などが触れない場所にとめ、触らないようにすること。(火傷の原因になります。)
5. 構造上最低地上高が低くなる場合がある為、マフラーを接地させる無理な運転操作や段差等で
マフラーが擦らないよう注意して下さい。
(マフラーを接地させるような運転を行うと、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。)
6. 法定速度を守り安全運転をすること。
(転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。)
7. マフラーが、フレームやオイルライン等に干渉したままエンジンを始動したり、走行しないこと。
(火災の原因や、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。)
8. 本書は、国家検定整備士資格を持った方を対象にしています。整備士資格をお持ちでない方は、
信頼のおけるお店に取り付けを依頼して下さい。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び、
物的障害の発生が想定される内容を示します。

1. 指定車種以外の装着は行わないこと。(製品の機能が損なわれ、故障等の原因になります。)
2. 製品を分解、加工、改造をしないこと。(製品の機能が損なわれ、故障等の原因になります。)
3. エンジンが冷えてから作業をすること。(エンジンが熱い状態で作業をすると火傷の原因になります。)
4. 水平な場所で、車体を安定させてから作業を行うこと。
(作業中オートバイが倒れて怪我をする恐れがあります。)
5. 作業する時は怪我防止の為、作業手袋を着用しエッジ部に気をつけて作業行なって下さい。
(エッジ部はバリ等がある可能性がある為、手など切ったり怪我をしないよう注意して作業を行って下さい。)

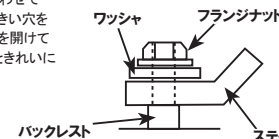
GRAB BAR KIT

EC84100-KWN-A11
JDKWN-84100-A01

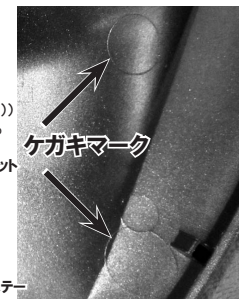
INSTRUCTIONS MANUAL 取扱説明書

- 取付ける前に
ボディカウルの取外し方やボルト、ナットの取外し方などについては、
車両のサービスマニュアルを参考にして下さい。

- ① 純正グラブレールカバーを加工します。(図①)
→加工が苦手な方には加工済みカバーを別途販売しております。(4700円(税別))
車両に付いているグラブレールカバーを取外して、グラブレールカバー裏側にある
4箇所の丸くケガれている部分に合わせて
穴を開けます。このとき、一気に大きい穴を
あけるのではなく、最初に小さい穴を開けて
様子を見ながら、穴を 拡大していくときれいに
加工出来ます。



図③



図①



図②



図④



図⑤



図⑥



図⑦

- ② 加工したグラブレールカバーを取り付けます。
- ③ 付属しているステアをバックレストに仮組みをします。
ステアは大きい穴が開いている側をFR側にして (図②)
小さい方でバックレストに仮固定します。
取付けの際には、付属のナットとワッシャを使って下さい。(図③)
- ④ 付属しているカラーを加工した穴部分に仮組みをします。(図④)
短いカラーをFR側、長いカラーをRR側にして加工した穴部分に置きます。
- ⑤ グラブバーを取付けます。(RR側のみ) (図⑤)
付属の長いボルトを使ってグラブバーを取り付けます。このとき、
FR側の短いボルトがある程度仮組みしてから、RR側の長いボルトを
本締めします。
※締付トルク：22 N・m
RR側の締め付けが終わったら、一度、FR側の短いボルトは取り外します。
- ⑥ バックレストステアの位置出しをして、ステアを固定します。(図⑥)
FR側の短いカラーがある部分にステアの穴が来るように調整して
ナットを本締めします。
※締付トルク：10 N・m
- ⑦ グラブバーのボルトを締め付けます。(FR側)
付属の短いボルトを使ってグラブバーとバックレストステアを共締めします。
※締付トルク：22 N・m
- ⑧ 各部の締め付けチェックを行います。
- ⑨ 完成。

● 注意事項

グラブバーはタンデム時に同乗者の負荷を軽減する為のものであり、
グラブバーを掴んで、車両を持ち上げたりなどグラブバーに過大な負荷がかかる行為はお止め下さい。
またグラブバーは構造上、車体より外側に出ています。走行の際には、グラブバーに人や物が当たらないように
十分注意して安全運転を心掛けて下さい。

注意

1. 本製品のパーツリストをもとに部品をご確認してから製品の取付をお願いします。
2. ネジ・ナット部に耐熱グリスを塗布してから、組み付けて下さい。
3. 取付・調整が終了したら、各部分のボルト・ナットの締め忘れが無い様にご注意下さい。
4. 取外した純正部品(ボルト等)は元に戻す際に必要になりますので、必ず保管して下さい。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。
※当社の取り扱い説明書等、十分ご確認の上ご使用下さい。
※当社製品以外の保証は一切お受けできませんので予めご了承下さい。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市大字山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625